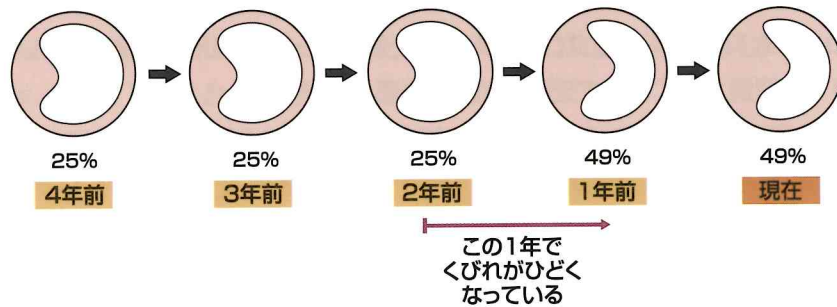


血管内皮細胞の炎症と動脈硬化

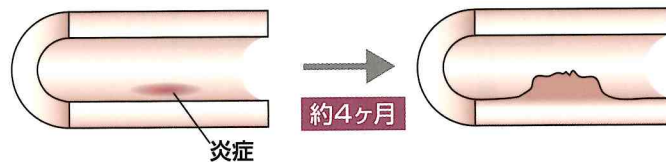
動脈硬化は年々少しずつ進んでいくと思われていましたが、どうもそうではなさそうなのです。特定の期間に急速に進み、その他の期間は進まないでじっとしていることがわかってきました。

動脈硬化と血管内皮細胞の炎症

動脈断面(頸動脈エコーにて)を1年に1回チェックしていたところ…



さらに研究すると、およそ4ヶ月の内皮細胞の炎症が原因であることがわかった



動脈の内側は、血管内皮細胞という細胞で覆われています。この内皮細胞に何かのダメージが加わると、その場所でさまざまな化学反応が引き起こされます。その結果、その部位がくびれたり、その場所で血小板の塊=血栓ができたりするのです。

心臓や脳の動脈でこの現象が起こると、命にかかわってきます。